

# 記念館だより

2021年5月号

## 「賀川墓前礼拝」

加藤 輝勢子

去る4月24日(土)、多磨霊園において創立者賀川豊彦の召天記念墓前礼拝が行われました。賀川豊彦は1888(M21)年7月10日に神戸で生まれました。1923(T12)年9月に関東大震災が起こり、東京に来て、甚大な被害を受けた本所地区を中心に救援活動を始めました。その後、神戸より東京に住まいを移し、世界をまたにかけるいろいろな活動をして、1960(S35)年4月23日に72歳の生涯を全うされました。東京にある賀川の関係施設や教会(東駒形教会、松沢教会、学校法人雲柱社、社会福祉法人雲柱社、公益財団法人雲柱社、イエスの友会、本所賀川記念館)の牧師、信徒、施設長などが集まり、賀川の命日に近い土曜日に毎年、墓前礼拝をおこなっています。今年は天候にも恵まれ、さわやかな風と新緑が目に見え、鮮やかでした。40数名が集まり、聖書を読み、讃美歌を歌い、服部理事長の奨励を聞きました。

2023年には関東大震災100年を迎えます。本所賀川記念館ではそのことを覚えて、月一度の賀川研究会で、本所基督教産業青年会、東駒形教会40周年史『40年の恵み』の読書会をしております。最初に賀川ハル氏の「四十年をかえりみて」という題の文章が書かれています。そこには関東大震災の直後のことが書かれています。

「8月28日、賀川を中心とした、キリスト信仰者の修養会が、御殿場に於いて開かれた。神の恵みを受け、キリスト・イエスの救いにあずかる者は、勇気をもって隣人のために、尽くすべきを奨励され、一同感激に浸って散会した。だから、なおのこと東京在住の人、また神戸を始め各地の人が震災地復興に参加したので産業青年会は数十人を数えるほどの奉仕者を得た。…医療活動、物資の配給、職業斡旋…東京が復興もなされたあと、産業青年会の働きは、その体系を変えて存続した。保育園、洋裁学校、金融事業、消費組合が組織された。これらは戦火で被害を受けたものもあるが、再起して今日に及んでいるものもある」と書かれています。

記念館は本所基督教産業青年会の志を受けて歩みたいと願っています。

本所賀川記念館児童クラブ(児童厚生施設) 2021年5月1日(土)発行

〒130-0005 東京都墨田区東駒形4-6-2 (一財)本所賀川記念館 TEL03-3622-7811

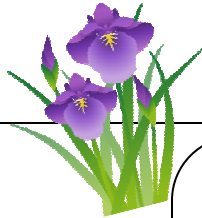
## 学童クラブ



新年度が始まってはや一ヶ月、新しいお友だちを加えた学童クラブは毎日活気に満ちています。お気に入りピカピカのランドセルも「重いよ！」と悲鳴を上げていた1年生たちですが、この頃では「もう空気みたいに軽い！」とすっかり慣れた様子で下校しています。

それ以上に張り切っているのは下級生ができた2,3年生たちの方かもしれません。「お話を聞く時はおひざを崩さないで座るんだよ。」「別の遊びに行くなら片づけて！」など、これまでに自分たちが注意されてきたことを1年生に言って聞かせている姿は、頼もしいと同時に微笑ましくも思います。

みんなで音楽に合わせてダンスをしたり、絵本を一緒に読んだり、工作をしたり、学年を越えた遊びの輪が少しずつ広がっています。(吉田)



## 記念館トピック

### 【賀川研究会】

『四十年の恵み～本所基督教産業青年会・日本基督教団東駒形教会四十年史』を読み進めています。

5/27 (木) 19:00～

本所賀川記念館3F ホール

※ 新型コロナウイルスの拡大状況によっては延期となる場合があります。



## コスモス会



コロナ禍の自粛生活の中、皆さんはどのように過ごしていたでしょうか？私はテレビの料理番組を見て、これはお弁当に入れても美味しいかなとか、これは合わないのではないかなとか思いながら見ていました。

また、NHK番組のサラメシでは皆さんご自分で美味しそうなお弁当を作っているのには感心しました。私は一度テイクアウトでお弁当を買って食べてみましたが、私たちが作るコスモス会のお弁当の方が美味しいと自画自賛しています。

4月から配食が再開されましたが、本音を言うと、もう作る側でなく、食べる側に回りたいと思っています。(80歳 千代田)

## 美術教室

第2～4週水曜日 15:00～17:00

講師：亀田谷垂礼先生



## ピアノ教室

毎週月曜日

講師：土屋 紘枝先生



保育園から小学校高学年のお友だちまで、のびのびピアノの音色と音楽を楽しんでいます♪